

みちのく分析科学シンポジウム 2025

日時：2025 年 7 月 19 日（土）

場所：東北大学 総合研究棟（C10）講義室 2（110）

主催：日本分析化学会東北支部

プログラム

- 13:30~13:35 支部長挨拶（講義室 2（110））
- 13:35~15:05 ポスター発表（2 階 共有スペース）
（コアタイム：奇数番号 13:35~14:20、偶数番号 14:20~15:05）
- 15:10~15:35 招待講演 1
「ヒトの骨格筋を評価する」
吉田司（東北大学大学院医学系研究科、医薬基盤・健康・栄養研究所、京都先端科学大学）
- 15:35~16:00 招待講演 2
「化学修飾が及ぼす加水分解酵素への影響：質量分析を用いた構造と活性評価」
幡川祐資（東北大学大学院薬学研究科）
- 16:00~16:25 招待講演 3
「表面改質による高性能電気化学バイオセンサの開発」
大崎脩仁（東北大学大学院工学研究科）
- 16:30~16:35 ポスター賞授与式・挨拶・閉会式

※要旨はありません。

※ポスターは A0（縦）で作成をお願いします。

※受付（名札の配布など）はありません。

※1 階正面玄関のみが開錠されています（3 階玄関からは入れません）。

※12:30~13:30 に、日本分析化学会東北支部第 2 回支部役員会（講義室 2（110））が開催されます。役員でない方は、この時間帯は講義室 2 に出入りできません。1 階や 2 階に休憩スペースがありますので、必要な場合はそこでお待ちいただけたらと思います。

※17:30 より支部役員懇親会（役員のみ）があります（詳細は役員会資料に記載）。

ポスター演題

奇数番号 : 13:35~14:20、偶数番号 : 14:20~15:05

(ポスター貼付 12:30~13:30 ポスター撤去 15:05~17:00)

- P-1 エンベロープウイルスの界面活性剤による不活化と膜モデル物質を用いた可視化
○佐竹絵里奈¹、関口理希¹、佐々木貴史²、吉田一也¹、矢野成和¹、遠藤昌敏¹（¹山形大院工、²山形大工）
- P-2 グルタミン酸検出に向けた脱水素酵素型電気化学センサの開発
○斉藤愛佳¹、三井景太¹、富樫春太¹、田中陸奥²、下平英生²、長峯邦明^{1,2}（¹山形大院工、²山形大工）
- P-3 有機色素を使用した非電気活性細菌の代謝測定法の研究
○原田翔生¹、奥井楓人²、青柳まりか¹、長峯邦明^{1,2}（¹山形大院有機材料システム、²山形大工）
- P-4 蛍光プローブ含有ハイドロゲルによる葉内糖分の抽出・検出法の検討
○島貫達也¹、浅野愛理奈¹、原田真之介²、岩佐繁之¹、長峯邦明^{1,2}（¹山形大院有機材料システム、²山形大工）
- P-5 培養腸モデルにおけるグルコース・乳酸・塩化物イオンの計測と薬剤評価への応用
○朱瑞桐¹、宇田川喜信¹、阿部博弥^{1,2}、珠玖仁¹、伊野浩介¹（¹東北大院工、²東北大学際研）
- P-6 細胞機能解析に向けた低酸素培養マイクロ流体システム
○小岩希¹、宇田川喜信²、阿部博弥^{2,3}、珠玖仁²、伊野浩介²（¹東北大工、²東北大院工、³東北大学際研）
- P-7 y-GC/NICI-MS によるテトラブロモビスフェノール A 熱分解生成物の分析に及ぼすイオン源温度の影響
○赤池佳緒梨¹、熊谷将吾^{1,2}、Borijigin Siqingaowa¹、Phanthong Patchiya¹、齋藤優子¹、中村貞夫³、渡辺壱^{1,4}、寺前紀夫⁵、渡辺忠一⁴、吉岡敏明¹（¹東北大院環境、²東北大院工、³アジレント・テクノロジー、⁴フロンティア・ラボ、⁵東北大院理）
- P-8 キャピラリー電気泳動における中心ランタニドのイオン半径の差がもたらすカルシウム-ランタニド-チアカリックスアレーン錯体の分離
○林明穂、唐島田龍之介、澤村瞭太、壹岐伸彦（東北大院環境）

- P-9 スプリットレス注入法を用いた熱分解-ガスクロマトグラフィー/質量分析法による太陽電池封止材の劣化評価
○中嶋魁心¹、熊谷将吾^{1,2}、齋藤優子¹、白鳥寿一¹、斯琴高娃¹、Phanthong Patchiya¹、吉岡敏明¹（¹東北大院環境、²東北大院工）
- P-10 DNA ハイドロゲルの応用に向けた測定法の検討
○前木明日真¹、平本薫²、阿部博弥^{1,2}、瀧ノ上正浩³、珠玖仁¹、伊野浩介¹（¹東北大院工、²東北大学際研、³科学大理工）
- P-11 MRI 造影剤への応用を志向したマンガン-ガドリニウム-チアカリックスアレーンからなる 三元系異核錯体の開発
○飛田浩人、唐島田龍之介、澤村瞭太、壹岐伸彦（東北大院環境）
- P-12 導電性高分子修飾酸化チタン光触媒を用いた光電気化学顕微鏡の開発
○小川智之¹、伊野浩介¹、吉信達夫²、珠玖仁¹、阿部博弥^{1,3}（¹東北大院工、²東北大院医工、³東北大学際研）
- P-13 曲率認識ペプチドと DNA aptamer を併用したインフルエンザウイルス粒子検出技術の構築
○松本康汰¹、佐藤雄介^{1,2}、畑中優作¹、成田在弘¹、西澤精一¹（¹東北大学院理、²JST-FOREST）
- P-14 イメージングプローブへの応用を志向したアップコンバージョン発光を示すカルシウム-異種ランタニド-チアカリックスアレーン四元錯体の開発
○笹原幹太、唐島田龍之介、澤村瞭太、壹岐伸彦（東北大院環境）
- P-15 コロナウイルス RNA の二重鎖領域を標的としたシトシン誘導体 2-aminopyridine 含有蛍光応答性三重鎖形成プローブの合成と機能評価
○和高尚夢、佐藤雄介、西澤精一（東北大院理）
- P-16 両親媒性 α -helix ペプチドの結合反応と陽極酸化アルミナ膜への粒子捕捉に基づいた高感度エンベロープウイルス粒子検出
○井上敬斗¹、佐藤雄介^{1,2}、岡田正大¹、西澤精一¹（¹東北大院理、²JST-FOREST）
- P-17 リジン選択的メチル化は、タンパク質の高次構造解析に使えるか？
○仁科颯真、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-18 アルツハイマー病とⅡ型糖尿病の関連解明を究極の目的としたプロテアーゼの修飾解析
○永久保友惟、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-19 解毒代謝に関わるグルタチオン S-転移酵素の酸化ストレス下の活性低下機構
○柳沢翔大、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）

- P-20 スルホフェニル基導入と負イオン検出質量分析によるカルボニル化タンパク質の高選択的検出法の試み
○中山舜矢、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-21 パーキンソン病に関わるドーパミン代謝物によるグルタチオン S-転移酵素の修飾と活性への影響評価
○熊谷ひなた、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-22 唾液を用いた非侵襲的バイオマーカー探索研究：アミラーゼ・リゾチームの化学修飾解析
○若松泰雅、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-23 放射性ストロンチウムの表面電離型質量分析
○後藤真宙、高貝慶隆（福島大理工）
- P-24 両性イオン界面活性剤による金ナノ粒子の曇点抽出における相体積変化と抽出相内の分子集合挙動に関する考察
○楠裕翔¹、柳田脩¹、Willie L. Hinze²、高貝慶隆¹（¹福島大理工、²Wake Forest Univ.）
- P-25 重水素リアクションガスを用いたイオンクロマトグラフ-ICP-MS/MS による Cl-36 分析法の開発
○鈴木優太¹、松枝誠^{1,2}、柳澤華代^{1,2}、古川真^{1,3}、川上智彦⁴、高貝慶隆¹（¹福島大理工、²JAEA、³パーキンエルマー、⁴化研）
- P-26 インフルエンザ A 型ウイルス RNA プロモーターを標的とした蛍光応答性三重鎖形成プローブの合成と機能評価
○白鳥大樹¹、佐藤雄介^{1,2}、三浦弘真¹、齊藤颯翔¹、西澤精一¹（¹東北大院理、²JST-FOREST）
- P-27 平面多点電極による三次元培養細胞塊の物質透過性に関する電気化学的評価
○山田聖太郎¹、伊野浩介¹、珠玖仁¹、阿部博弥^{1,2}（¹東北大院工、²東北大学際研）
- P-28 中空糸型正浸透膜による放射性ヨウ素の濃縮
○司朝陽、丹治珠緒、柳堀あや子、高貝慶隆（福島大理工）
- P-29 がん選択性の付与と生体内安定性の向上を志向したアーチ型近赤外吸収 Pt(II)錯体の開発
○藤澤快星、澤村瞭太、壹岐伸彦（東北大院環境）
- P-30 水溶性キレート錯体の形成を活用したスラッジ中銅の選択的抽出と電気化学的還元による精製
○ジュージョンラック スナントー^{1,2}、神長 七海²、高杉 主浩³、武田 賢樹³、澤井 光²、高貝 慶隆¹（¹福島大理工、²茨城高専、³日本アトマイズ加工株式会社）
- P-31 Au/MnO₂ 触媒前駆体の調製と Au-197 メスバウアースペクトル
高橋那捺¹、田口雅大¹、田渡琉音¹、杉山武晴²、小林康浩³、大橋弘範^{1,4,5}（¹福島大共生システム理工学類、²九大シンクロトン光利用センター、³京大複合原子力科学研究所、⁴福島大放射光利用プロジェクト研究所、⁵福島大水素エネルギー総合研究所）

- P-32 LC/ESI-MS におけるペプチドの保持・イオン化に及ぼす移動相モディファイアーの影響評価
西條絵莉香、幡川祐資、李宣和、大江知行（東北大院薬）
- P-33 X線造影剤内包金ナノ粒子包含樹脂の開発とX線 CT/SPECT デュアルモダリティイメージングへの
応用
○中村恋乃¹、右近直之²、鷲山幸信²、黒岩大地³、関野啓史³、伊藤浩³、高貝慶隆¹（¹福島大理工、²福島医大先端セ、³福島医大医）
- P-34 がん診断・治療を志向したランタニド-チアカルックスアレーン錯体搭載ナノ薬剤の創製
○早川崇¹、進藤なな帆¹、澤村瞭太¹、唐島田龍之介¹、尾澤芳和²、長田健介²、青木伊知男²、鈴木実³、壹岐伸彦¹（¹東北大院環境、²量研機構量医研、³京大複合研）
- P-35 放射性セシウムを含む土壌や灰からのポルサイト合成とガンマ線構造破壊によるセシウム漏れ特性
○加藤実果¹、奥山泰冴¹、齋藤毅²、川本大祐³、杉山武晴⁴、大橋弘範^{1,5,6}（¹福島大共生システム理工学類、²京大複合原子力科学研究所、³岡山理科大学理学部、⁴九大シンクロtron光利用センター、⁵福島大放射光利用プロジェクト研究所、⁶福島大水素エネルギー総合研究所）
- P-36 誘導結合プラズマ質量分析法による指標元素を利用した Pu および Am の間接定量
○伊藤央泰¹、柳澤華代^{1,2}、松枝誠^{1,2}、古川真^{1,3}、川上智彦⁴、高貝慶隆¹（¹福島大理工、²JAEA、³PerkinElmer、⁴化研）